

授業科目 ジェンダーと人権

【担当教員名】 塚本康子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 人をジェンダーの視点で理解し、ジェンダーに関わる人権について考える。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズム、人権などの概念と、それらの歴史的背景を述べることができる。 2. ウィメンズヘルスとメンズヘルスの新しい概念について説明できる。 3. 家族関係におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 4. 教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 5. 社会生活におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 6. 保健・医療・福祉におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズム、女性学・男性学の概念	1, 2	講義		
2	家族関係におけるジェンダーと人権の問題ーしつけ・教育	3	講義		
3	教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題	4	講義		
4	社会生活におけるジェンダーと人権の問題	5	講義		
5	社会生活におけるジェンダーと人権の問題	5	講義		
6	保健、医療、福祉にみられるジェンダーと人権の問題	6	講義		
7	保健、医療、福祉にみられるジェンダーと人権の問題	6	講義		
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)		なし。その都度プリントを配布する。			
参考書		女性学・男性学-ジェンダー論入門 伊藤公雄他 有斐閣、ジェンダーの法律学 金城清子 有斐閣、初めて学ぶジェンダー論 伊田広行 大月書店、ジェンダー・セクシュアリティ・制度 小松満貴子 ミネルヴァ書房、			
その他の資料		女性のデータブック 井上輝子他 有斐閣、性の政治学 ケイト・ミレット ドメス出版			
【評価方法】 出席10点 課題40点 レポート50点		【履修上の留意点】 文献を読み、考え、自らの考えをまとめていこう。 新聞や記事を読む習慣を身につけよう。			